

ラグビーワールドカップ2019™

静岡県開催の実績



静岡県文化・観光部

令和元年11月25日

招致の経緯・開催意義



招致の経緯



H27.3.3 開催決定セレモニー

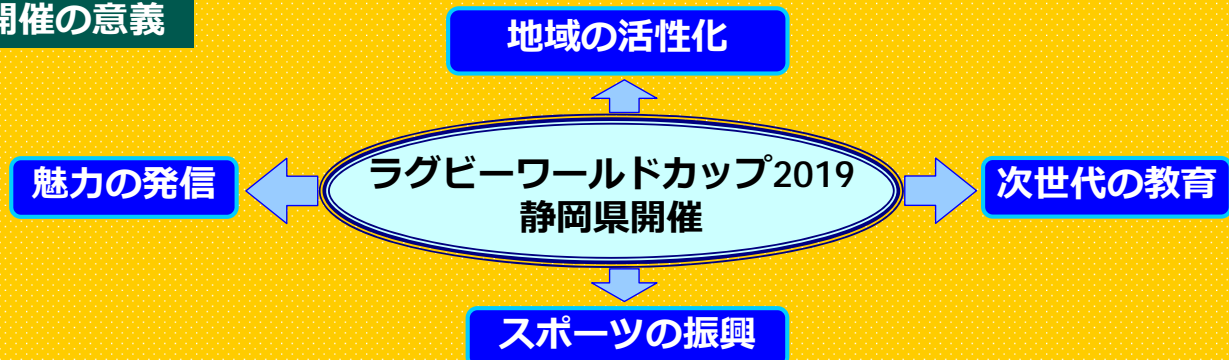
- 2004年：日本ラグビー協会が招致活動開始
- 2009年：日本での開催決定（アジア初・ラグビー伝統国以外初）
- 2013年：静岡県への招致活動開始
- 2015年：国内12会場決定



H27.3.2 静岡開催決定の瞬間

ラグビーワールドカップ 日本大会開催都市決定！

開催の意義





大会開催結果①



日本大会全体は・・・

- ▶観戦客数 **170万4443人** (1試合平均37,877人)
- ▶チケット販売枚数 **約184万枚** (販売率**99.3%** W杯最高値)
- ▶ファンゾーン (全16会場) 総入場者数 **約113万7千人** (W杯最多)
- ▶テレビ視聴率 (関東地区、10/20日本対南ア戦) **41.6%** (今年の最高値)
- ▶SNSの閲覧数 **17億回** (W杯最多 * 前回大会の4倍)



エコパスタジアム



浜松ファンゾーン

◆ワールドラグビー ビル・ボームント会長

- ・RWC2019はラグビーに**新たな観客をもたらした**点で非常に画期的であった。
- ・素晴らしく、謙虚で、歴史的なホスト国であった日本と日本人に**心の底から感謝したい**。
- ・日本代表の驚くべきパフォーマンスも、間違いなく大会の最も記憶に残る瞬間であった。
- ・日本大会は様々な意味で記録を破り、ラグビーの印象を劇的に変えた。

◆RWC2019組織委員会 嶋津昭事務総長

- ・RWC2019は、多くの人に**永く記憶される素晴らしい大会**となった。
- ・今大会の盛り上がりは、ラグビーのゲームの魅力とともに、**選手の振る舞いなど、ラグビーの持つ品位、情熱、結束、規律、尊重という5つの価値が日本人の心に響いた**ことによるもの。
- ・この大会が多くの日本人、アジアの人々にとってラグビーへの理解や関心を深めることにつながり、今後の世界的なラグビーの普及発展に結びつくことを願う。



大会開催結果②



本県開催試合は・・・

開催日	9/28 (土)	10/4 (金)	10/9 (水)	10/11(金)
対戦カード	日本 V アイルランド	南アフリカ V イタリア	スコットランド V ロシア	オーストラリア V ジョージア
点数	19 - 12	49 - 3	61 - 0	27 - 8
観戦客数	47,813人	44,148人	44,123人	39,802人
↓ 175,886人 (平均 約4.4万人)				



Photo by Yuuri Tanimoto

シズオカ ショック (静岡の衝撃)



- ・国内外の多くのメディアが絶賛！
- ・大会を盛り上げる大きな起爆剤に

Photo by Yuuri Tanimoto

県運営本部

円滑な大会運営の実現

「交通輸送」「警備」「ファンゾーン」
「おもてなし」「会場整備」 etc..

↓
**日本代表チームとサポーター
の力を最大限発揮することに
大きく貢献！**

ファンゾーン

スタジアム以外でもRWCを楽しめる「第2のスタジアム」

会場	駿府城公園 (静岡市内)	ソラモ・えんてつホール (浜松市内)
開催日数	9日間 ※台風のため1日中止	10日間
観客数	延べ67,659人	延べ46,118人
113,777人		



駿府城公園



ソラモ

おもてなしエリア (本県開催試合の4日間)

スタジアム周辺における「静岡県らしい」おもてなしと本県の魅力発信 (延べ110,168人)



愛野駅南口周辺



駅～スタジアム沿道



エコパ内広場

- ・飲食ブース (地元&出場国グルメ)
- ・地元団体ステージ
- ・文化体験
- ・祭り屋台展示 等
- ・ストリートパフォーマンス
- ・沿道結婚式場での飲食提供 等
- ・地域産業PR
- ・花火打上げ
- ・ラグビーアクティビティ 等

レガシーに向けた主な取組

取組概要

区分	内容
タグラグビーの普及	タグラグビー教室 (県内の小学生を対象) 指導者養成講習会 (小中学校教員等を対象)
ラグビー授業	ラグビー憲章 や ラグビーの基礎 を学ぶ教本を制作 ラグビー精神を学び、人間性を育む授業を推進 (県内小中学校、特別支援学校に教本を配布)
児童・生徒の観戦招待	世界最高峰のプレーを観戦して感動を体感 "学ぶ" (ラグビー授業) と "観る" (試合観戦) を併せて教育的効果を向上 (日本代表戦を除く 3試合で25,136人 を招待)
地域クラブの支援	(一社)アザレア・スポーツクラブ の活動支援 *所在地:エコパスタジアム、代表理事:清宮克幸氏



タグラグビー教室



指導者養成講習会



アザレアセブン



PHOTO S-IDA

児童・生徒の観戦招待



ラグビー授業

RWCが遺したものは・・・

“こころ” と“かたち”に遺るもの

- ◎ラグビーファンの拡大（ラグビー授業・観戦勧奨）
- ◎ボランティアの育成（“おもてなし”の心）
- ◎国際交流の促進
- ◎国際スポーツ大会運営のノウハウ
- ◎国際標準の施設整備



東京2020オリ・パラの自転車競技大会への継承



“スポーツ王国”しずおかの実現

